

第18回 TOSS 五色百人一首 島根県大会

Teachers' Organization of Skill Sharing

News Letter

主催: TOSS五色百人一首協会島根県支部

共催: NPO法人島根教師力向上支援研究会 TOSS島根

後援: 島根県 島根県教育委員会 出雲市 出雲市教育委員会 松江市 安来市 雲南市 江津市 浜田市 益田市 奥出雲町 邑南町

大会名誉会長 参議院議員 青木一彦様、島根県議会議員 洲浜繁達様、五百川純寿様、森山健一様、大屋俊弘様、須山隆様より祝詞をいただきました。



旧暦の正月を迎え、あらためて新年明けましておめでとうございます。私は、新春に皇居で行われた「国会始の儀」で新潟県の杉本陽香里さんの、こんな短歌に感激致しました。
『夏野菜 今しか出せない 色がある』

皆さんには、この歌の中に、家族をはじめ学校の先生、大人達みんなが、「子供達よ、今しかできない事にどんなチャレンジして欲しい」との優しい眼差しがあることを感じて欲しいと思います。そして、皆さんのような若人が、短歌を学んだり、スポーツ・音楽など様々なことに、いっぱいチャレンジし、元気に駆けて行って下さい。

さて、平安時代から八百年もの長い歴史を積み重ね、伝えてきた百人一首を、子供達が、いつでも親しめるようにと考案された『五色百人一首』は、先生方をはじめ多くの方のご努力により、今全国で二百万人以上の子供達が楽しむようになったと聞いております。日本の素晴らしい伝統文化を引き継いでいくためにも、この大会が持つ意義は、とても大きなものがあります。

平成二十九年二月五日

参議院議員 青木一彦



第十八回TOSS五色百人一首島根県大会が島根県及び島根県教育委員会の後援のもと、関係者の皆様のご尽力により開催されますことお慶び申し上げます。

本大会では県内各地より愛好者が相集い、日頃鍛えた自慢の腕を披露し、毎回熱気あふれる充実した大会になっています。このことは喜ばしい限りです。

島根県議会議員 森山健一



第十八回TOSS五色百人一首島根県大会が開催されますこと心からお祝い申し上げます。大会を通して他校の児童生徒との交流を図り、児童生徒の健全育成に努め、伝統的な言語文化を尊重し、郷土を愛する心を育てる大会となりますよう期待いたしております。

島根県議会議員 洲浜繁達



ふるさとを守り貫く為にも、今一度島根の魅力を取り戻すこと、島根らしさをのびのびと表現し、島根の魅力一人一人に教育と愛情を注ぎ、情操豊かな人間に育つよう今大会もご尽力頂くことをお願い致します。

島根県議会議員 五百川純寿



第十八回TOSS五色百人一首島根県大会をお祝い申し上げます。日本古来からの文化の取りどころ、心と技と先を読む力の向上につながると思えます。子ども達の輪から大人の皆様迄楽しい交流の輪が広がりますようお祈り致します。

島根県議会議員 大屋俊弘



第十八回TOSS五色百人一首島根県大会の開催を祝し、心よりお慶び申し上げます。貴実行委員会の取り組みにより、年々五色百人一首が広められ、多くの子どもたちに日本の伝統文化である百人一首の素晴らしさを体験できる機会を与えられることは誠に素晴らしい事であり、ご尽力に深甚なる敬意を表します。今後ともこの取り組みが広まっていくことを期待するとともに、今大会のご盛会を祈念申し上げます。

島根県議会議員 須山隆

今年のはべ参加者85名。気温が下がっている中でも、熱戦が展開されました。

【性別参加者】
青19名
黄22名
桃15名
緑17名
橙13名
合計 86名



▲午前の開会式の様子。青木議員の秘書(周藤司様)が開会式に参加してくださいました。参加者は、午前の部、41名。午後の部、45名。観戦されたご家族を含めるとのべ約150名になりました。



▲午前は青・黄札。集中して札を一心に見つめる子どもたち。1枚へのこだわりが勝敗を分けます。



▲午後は、桃・緑・橙札の試合が行われました。

TOSSとはTeacher's Organization of Skill Sharing(旧・教育技術法則化運動)のこと。授業教育に役立つ教育技術・指導法を開発し集め、授業の技術を高めようと努める教師の団体です。

五色百人一首とは

日本の伝統・文化を伝える教材

◇五色百人一首は百人一首を20枚ずつ5色に分けた教材です。このため一試合、約3分間で決着がつけます。

子ども達は五色百人一首に熱中し楽しみながら百人一首を覚えることができます。

また試合を繰り返すうちにルールが身につきます。だから自然とクラスがまとまります。

◇五色百人一首を行うクラスは男女みんなが仲良く、どの子どもも自信を持って学校生活を送るようになります。

◇TOSS五色百人一首協会は、全国各都道府県の小学校の教師が、「地元で五色百人一首の大会を開こう」という目的で集まり、1999年に結成されました。

◇創設された年度には全国で12箇所の大会が開かれました。

◇翌2000年には京都府の高台寺大会等、23箇所。2001年は、福岡・太宰府天満宮、奈良・薬師寺、長崎・出島、群馬・達磨寺、東京・寛永寺など28箇所で、100人規模の大会が開催されました。



五色百人一首のお問い合わせは【東京教育技術研究所】へ TEL 03-3787-6564 または「五色百人一首教材」で検索



▲保護者の方には、親学ミニ講座を行いました。

▲ふれあい囲碁も楽しみました。



▲▼決勝トーナメント戦の様子。緊張感あふれる中、熱戦が続きます。

▲午前部 表彰式の様子。

▼午後部 表彰式の様子。



【参加者の感想(保護者)】

◇保護者向けの講演があったり、待ち時間に色々な遊びも体験できたので、本当に良い企画だと思います。
 ◇あいさつすることを大事にされていたので良かったです。
 ◇勝てるようにするにはどうしたらいいのか、自分なりに考えてステップアップしてほしい。お世話になったスタッフの方々、ありがとうございました。
 ◇スタッフの方がたくさんおられて良かったです。初めてだったので、挨拶などうまく出来なかったようです。ゆっくり進めてもらえて安心しました。
 ◇事務局の皆さまには親切に教えていただき、子供も楽しんでいました。ありがとうございました。
 ◇担任からの案内があり、今回初めて参加しました。学校でも毎日百人一首をやっており、1年間がんばってきた成果を試すとてもいい機会だったと思います。どんなことでもいいので、「今しかできない、今やりたいこと」を体験させてやりたいと思っていたので、今回参加したことで、子供自身の満足度は100点ではなかったかと思えます。
 ◇初参加でしたが、楽しそうな様子で良かったです。他校のお友だちとの交流も自然とでき、毎年参加すると友だちが増えそうです。百人一首も20枚ずつなので無理なく続けられそうです。兄弟で自宅での対戦を続けてほしいなと思いました。
 ◇準備等大変お世話になりました。今年も楽しく参加することができました。来年参加できるのを楽しみにしています。
 ◇娘が百人一首クラブに入り、その大会を始めて知りました。百人一首に興味をもち、本を読んだりしていましたが、大会に参加する娘を見て、ほどよい緊張感と集中力で「何よりも参加して良かった！」と楽しく参加できたので良かったです。

▲熱戦の最後は握手。



◇子どもにとって、とても良い経験ができたと思います。来年もぜひ参加させたいと思います。
 ◇学校での練習から本番へ向けての意気込みもあり、参加して良かったです。本番ではなかなか思うようにいかなかったようですが、この経験をまた生かしてほしいのです。
 ◇静けさの中集中する子供たちの姿がとても良かったです。
 ◇親子共により経験となりました。
 ◇6年間、ありがとうございました。残念ながら今年は結果を残せませんでしたが、良い経験になったと思います。
 ◇親学ミニ講座、大変参考になりました。ありがとうございました。
 ◇わかりやすく進行して下さり初めてでもとまどうことなくすごせました。子ども達もみんな真剣で、そんな姿を見て良かったです。
 ◇参加させていただいて上には上がいることを子供に知ってもらうことができた。
 ◇練習不足で中学に上がってから家でも触れることなく・・・ぶっつけ本番でしたが本人は楽しんでいました。来年は少し練習すると意気込んでいます。



【参加者の感想(子ども)】

○たくさん強い人とやれてよかったです。決勝戦で対戦したお兄さんはとても強かったです。来年も来たいです。
 ○決勝に行けなくて残念でした。
 ○いろいろな人と対戦することができてよかったです。
 ○今日出会えなかった人と19回目の大会の時に一緒にしたいです。たくさんの人とやることができて良かったと思います。すごく強い人がいてびっくりしました。
 ○また来て、次は、1位か2位になりたいです。
 ○全部負けてくやしかったです。今度あればすべて勝ちたいです。
 ○全部負けたけど、1人でも友だちができてうれしかったです。また五色百人一首大会に出たいです。
 ○きんちょうしたけどおもしろかった。
 ○今日、初めて参加したけど、とても楽しかった。
 ○せいっぱいできてよかった。
 ○また次回もさんかしたいです。
 ○いろいろな学校の人と対戦でき、しげきになった。
 ○みんなとるのが早くてすごかった。負けてしまってもよかった。
 ○今まで練習したがいがありました。とても楽しかったです。

○もっと練習しようと思います。
 ○いろいろな友達と対戦できて良かったです。1位にはなれなかったけど、とても楽しかったです。
 ○決勝までいけたことが、うれしかったです。
 ○中学生や5・6年生には1枚もとれないと思ってたけど、7枚か8枚とれてよかった。
 ○いろいろな人と対戦できて楽しかったし、ふれあい囲碁では他の小学生の人と話せて良かったです。今日初めて参加したけど、とても楽しかったです。決勝までいけなかったけど、来年も参加して、決勝にいきみたいです。
 ○たくさんの人とやることで良かったと思います。すごく強い人がいて、びっくりしました。
 ○初めてだったけど、ゆうしょうしてよかったです。
 ○初めて出場したけど、いろいろな人と対戦できて良かったです。がんばってやった結果2位になれて、うれしかったです。
 ○今年は決勝に行けなくて残念でした。来年はもっともっと練習して決勝に行きたいです。2年から4年までこの大会に出ているので、6年まで行きたいです。
 ○しっかりと他の市の小学校の人たちと交流したりできたので、良かった。礼儀正しくできたので良かったです。

NPO法人島根教師力向上支援研究会(通称:NPO法人しいのみ)

NPOしいのみは、教育関係者、保護者及び児童生徒に対して、子どもの健全育成を図ろうとする精神のもと、授業技量の向上及び教育技術の習得のための研修会、各種体験教室、教育や子育てに係る情報提供サービス等の支援事業を行い、学校、家庭及び地域の教育力の向上に寄与することを目的としています。

学校から飛び出す 地域に飛び出す



私達のこれからの社会貢献

地域体験

身近にある観光資源に目を向けた体験活動です。地元で活躍しておられるNPOの方、地域の活動家の方等を講師に招いたり、現地に出かけたりして、島根・各地の良さを「知る」「体験する」活動を行います。

アタマげんき教室

脳のトレーニングゲーム、ワーキングメモリを鍛える本「アタマげんきどっこ」や拡散的思考で能力を高める「ペーパーチャレンジ」などを行います。

コミュニティリーダー育成

異年齢の子どもどうしの遊びの中で社会性を身につけていく、「異年齢集団」の学びを支える内容を行います。読み聞かせ、アタマげんき教室で勉強したことやチャレンジなどのゲームを仕切り方や接し方を学ぶ機会を作ります。

伝統文化・体験活動

これまで行ってきた五色百人一首大会、「子ども体験遊び」ジャンピック・チャレンジ大会、「はがきの書き方教室」などを継続して行っています。

グローバル教育

単に英会話を練習するのではなく、自分達の国、地域に誇りを持つことなど国際社会に対応できる人材の育成を目指した教育を行います。具体的には、日本の領土についての学習、英語を使ったコミュニケーションなどを行います。

防災・エネルギー教育

緊急時の行動や防災について、節電方法やエネルギー問題について学ぶ機会を作っていきます。水で発電してあかりをとるアクリルキャンドルの工作などを行います。

まちづくり教育へ